
<交響組曲 地球連合ー正義の姫巫女ー>



私はこれから新しい環境保全と自然と暮らす生活の可能性を提示する。

それについてどのように行動するかは個人の自由だ。

だが聞いてほしい。これまで我々は本当に環境保全というものに取り組んでいたのだろうか。

自然環境を守るために様々な仕組みが作られた。

だが、人々が知らぬ間に、環境保全を名前に暴虐行為で解決しようとする者が現れている。
己の保身のためだけに動く者もいる。

間違った技術、技術のない者が環境保全という名前をかざし、破壊している者もいる。

やがて暴虐行為は闇の奏でる悲鳴となる。

そして闇を指揮する者、悲鳴を伴奏に踊る者が増える。

これが現在の環境保全という名の姿だ。闇を指揮して真実を奪う。

そして自然達の楽譜を壊し、リズムを奪う。

私はこれが正しいとは思わない。

だからこそ聞いてほしい。

本当に環境を守るとは何か。これから私は全く新しい環境保全の可能性を示す。

私は、国とは人の集まりであり場所は問題ではない。人が住まう場所が世界であり、人と植物・自然と暮らすのが地球であると説いた。

自然は誰かが支配するものではない。

自然は場所に関係なく、共有すること。守ること。

本当に環境を守るとは何か。

難しい取り組みも複雑な仕組みでもない。
そう。
ただ、自然達と曲を演奏し踊る。それだけだ。

自然達の奏でるリズムで、人はメロディーを響かせる。
自然達の空気、木々、花、緑、季節。自然達がいつも奏でるリズムに合わせて、人はただ役割というメロディーを響かせる。

自然を守る者は自らの技術と才能を差し出し、全ての人は自然環境を知り、学び、慈しむ。
時には誰かに教えてあげる。
時には間違った技術で自然環境を破壊する者を正し、真実を照らす。

時には壊してしまった自然達の楽譜を再生させる。

もし世界中の人々がメロディーを響かせ、自然達の奏でるリズムで踊れば、環境保全のために作られた複雑な仕組みは必要ない。環境保全のあり方も大きく変わるだろう。

特別なことをしなくても、誰もがそのように生きていけば、自然環境は保全していけるはずだ。

時に自然は人々に刃を向け、嘆きのノイズを轟かせる。
それでも人は自然と共に曲を演奏し踊る。

響くメロディーと奏でるリズムがハーモニーを呼び、シンフォニーを演奏することが出来る。
メロディーとリズム。共にあってこそ、如何なる闇のノイズをも打ち消す、シンフォニーを演奏することができる。

人と自然がシンフォニーを演奏することで、双方が暮らしやすい生活、暮らしができるのだ。

始めよう。自然達との新たな演奏を。

これが新たな環境保全の可能性を提示する楽譜。
「交響組曲 地球連合ー正義の姫巫女ー」

2011年10月23日
地球連合／UNITED EARTH 地球連合環境保全活動ジャスティスパラディン

【著作権情報】

著作者：塩田剪庭園代表・塩田賢寿

作成日：2011年10月23日

地球連合ウェブサイト：<http://www.aego-ue.org>

塩田剪庭園ホームページ：<http://www.aego-ue.org/senteien.html>

この文書の著作権は著作者にあり、引用や複製、編集、盗用など著作権侵害となる全ての行為を禁止します。

【学校教育などご利用の方へ】

本文書をご覧になっていただき、誠にありがとうございます。

さて、環境問題や自然災害が大きく取り沙汰されている今、環境保全活動のあり方も大きく見直さなければならぬ時となっています。

私はもっと、より多くの子供たち、若い世代に環境保全とは何かを考え、自然環境を大切にして欲しいと願い、本文書を環境教育などにご利用していただきたいと思います。

なお、本文書の著作権は著作者にありますので、ご利用の際には、メールなどでご一報ください。利用する旨のメール、またはお電話をいただくだけでご利用可能です。

よろしくお願いいたします。

メール、電話の連絡先（代表者の携帯番号）は塩田剪庭園のホームページにあります。

塩田剪庭園ホームページ：<http://www.aego-ue.org/senteien.html>